



まとい
纏

びと
人



特集①

平成30年7月豪雨災害から5年

特集②

第5次将来構想計画〈第4回〉

- ・令和5年度危険物安全週間
- ・令和5年度火薬類危害予防週間
- ・第51回消防救助技術近畿地区指導会に出場します

2023

7



枚方寝屋川消防組合

Hirakata Neyagawa Fire Department

目次

7月職場標語

『褒めて、伸ばそう、いい職場』

枚方消防署 警備課 本署 消防士 水川 浩平】

特集①

平成30年7月豪雨災害から5年（警防課）1



特集②

災害の状況と大阪府大隊として被災地に出動する本消防組合の部隊

第5次将来構想計画〈第4回〉（企画戦略課）3

トピックス

令和5年度危険物安全週間（保安対策課）7

令和5年度火薬類危害予防週間（保安対策課）10

高齢者向け熱中症予防リーフレットを配布（企画戦略課）12

第51回消防救助技術近畿地区指導会に出場します（警防課）15

連載

ハラスメント撲滅への手紙（総務管理課）21

少年消防クラブの活動

6月の活動（各消防署・予防指導課）22

お知らせ

火遊び・花火による火災の防止（警防課）24

消防統計

消防統計（令和5年6月）25

熱中症による救急搬送状況（令和5年6月）27

平成 30 年 7 月 豪雨 から 5 年

警 防 課

令和 5 年 7 月 10 日、活発な梅雨前線の影響により、九州地方では大雨特別警報が発表され、複数の河川の氾濫、九州各地で土砂災害が発生しており、甚大な被害が発生しました。

本消防組合としても、緊急消防援助隊の要請があれば、枚方寝屋川消防組合緊急消防援助隊応援等実施計画に基づき、大阪府大隊として出動します。

梅雨末期には、今回の九州各地で発生した大雨と同様に大阪府内でも大雨による災害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

今年は、平成 30 年 7 月豪雨から 5 年の節目の年となります。過去の災害を風化させず、未来の災害に備えることが重要になっています。

1 災害について

平成 30 年 7 月 6 日に大雨特別警報が発令され、大雨特別警報の運用が開始以来最多となる計 1 府 9 県（福岡県、佐賀県、長崎県、岡山県、広島県、鳥取県、兵庫県、京都府、高知県、愛媛県）で発表されました。河川の氾濫、浸水害、土砂災害等が発生し死者 237 名、行方不明者 8 名、重軽傷者 432 名となり、平成最悪の水害となりました。

同年 7 月 5 日から 8 日までの 4 日間に、各地で線状降水帯が発生し、短時間の長期的かつ局地的な降水量の増大に影響を与えていたと考えられています。

（参考：気象庁 2018「平成 30 年 7 月豪雨」及び 7 月中旬以降の 記録的な高温の特徴と要因について）

2 本消防組合の取り組みについて

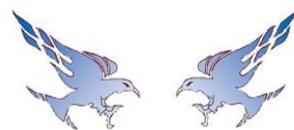
(1) 枚方寝屋川消防組合緊急消防援助隊応援等実施計画の策定

緊急消防援助隊については、平成 15 年 6 月消防組織法の改正（法制化）以降、全国で 37 回の出動実績（全国で年間約 2 回の出動状況）がある中で、本消防組合の隊が緊急消防援助隊として被災地に出動する際に応援等の計画が未策定であったこと、及び国の計画等が複雑化している中で、本消防組合としての整理が必要であったため策定しました。

(2) 土砂災害活動マニュアルの策定

近年の気候変動の影響による集中豪雨や大規模地震で誘発される土砂災害に対し、迅速、確実かつ的確に災害対応を行うために必要な事項をまとめ、現場活動の充実強化に資することを目的に策定しました。

土砂災害活動マニュアル



令和 5 年 5 月 11 日
枚方寝屋川消防組合

- (3) 緊急消防援助隊の応援に伴う訓練の実施
消防庁長官の求め又は指示による応援出動の措置を迅速かつ的確に行うため、応援活動を行う本消防組合の派遣初動体制を確立するために当該訓練を実施しました。



3 おわりに

平成 30 年 7 月豪雨は甚大な災害となり、緊急消防援助隊大阪府大隊 359 隊 1,341 人が派遣されました。（本消防組合から 14 隊 58 人）

毎年のように日本各地で発生する豪雨による災害は、台風シーズンになる前でも、管内で発生する可能性があることから、ハザードマップ等を活用し、両市の管内特性を把握するとともに、各種災害に備える必要があります。

緊急消防援助隊についても、いつ出動の指示が来ても迅速に派遣できるよう、今後も引き続き体制強化に努めていきます。



被災地の当時の状況

第 5 次 将 来 構 想 計 画



安全・安心を**実感**できるまち 2023 → 2030
～ともにつくる～

〈第4回・前期事業計画〉

企画戦略課

1 前期事業計画について

事業計画は、基本目標に基づいて実施していく具体的な事業の内容、実施予定期間及び重要業績評価指標（KPI）等をまとめた計画です。

前期事業計画は、令和5年度（2023年度）から令和7年度（2025年度）までを計画の期間とします。

事業計画は、社会状況の変化等に迅速かつ的確に対応する必要があることから事業内容やKPIについて定期的に検証し、必要な見直しを行い、令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までを期間とする後期事業計画に反映させます。

2 前期事業計画の概要

【基本目標①】市民・事業所の防火・防災意識の高揚と自助・共助の醸成

(1) 各種事業について

① 地域防災力の強化

自主防災組織、地域の事業所・各種団体、両市消防団、危機管理担当部局などとともに地域の「自助」、「共助」を醸成し、地域防災力の強化を図ります。

- ・ 地域防災力強化
- ・ 消防団との合同訓練
- ・ バリエティ豊かな自主防災訓練

- ・ 住宅防災診断
- ・ あらゆるコンテンツを活用した情報発信

② 住宅防火安全対策

高齢者宅（特に一人暮らしの高齢者宅）中心とする住宅防火対策の推進により、火災による死者数を減少させます。

また、住宅用火災警報器の設置及び取替えを促進します。

- ・ 高齢者への住宅防火対策
- ・ 住宅用火災警報器設置促進
- ・ あらゆるコンテンツを活用した情報発信
- ・ 火災原因調査業務の検討

③ 防火対象物の安全対策

防火対象物における火災を予防するために、事業所の自主防火管理体制を促進するとともに、火災が発生した場合に、被害を最小化させるために、査察・違反是正体制を推進します。

- ・ 自主防火管理体制の促進
- ・ 査察・違反是正の推進

④ 危険物施設の自主保安体制構築

危険物施設における事故を防止するために、事業所が自ら危険物施設の維持管理状況についてチェックする制度を構築し、事業所の自主保安意識の醸成を図ります。

- ・ 危険物施設の自主保安体制構築

(2) 前期事業 KPI について

前期事業 KPI	2025 年度目標値
消防団との合同訓練	3 回→5 回
住宅防災診断実施件数	— →3,000 件
住宅用火災警報器設置率	72.0%→74.0%
違反対象物の是正率	50.0%→ 57.5%
自主チェック実施率	— →25.0%

【基本目標②】あらゆる災害から市民を守るための消防防災体制の強化

(1) 各種事業について

① 消防防災拠点の整備

構成市における公共施設等の整備方針を踏まえ、署所の整備を進めます。また、昭和 50 年代に建築された庁舎については、整備時期が重なり、今後、多額の経費を要することから、人口減少や災害状況など社会情勢の変化も視野に入れた中長期的な署所の整備計画を策定します。

- ・署所の整備
- ・署所の整備計画策定

② 消防防災体制の強化

複雑化・多様化する災害に臨機応変に対応し、市民の安全・安心を守るための消防防災体制の強化に努めます。

また、様々な災害を想定した訓練施設を整備するとともに、警防技術の向上と安全管理体制を強化します。

- ・主力消防車両の整備
- ・訓練施設の整備
- ・豪雨災害対策
- ・土砂災害対策
- ・警防体制再構築
- ・水難事故対策

③ 大規模災害への対応強化

大規模災害発生時における、被害を最小限に抑えるための体制を強化します。

- ・消火栓の維持管理
- ・木造密集地域における警防体制強化

④ 指令管制業務の充実強化

運用から 10 年が経過する消防情報シス

テムを更新します。また、大規模災害時の緊急度判定やコールトリアージの体制を整備し、指令管制業務の充実強化を図ります。

- ・消防情報システムの更新
- ・通信インフラの整備
- ・大規模災害時コールトリアージ

(2) 前期事業 KPI について

前期事業 KPI	2025 年度目標値
車両更新計画に基づく主力車両の整備率	100%→100%
民間事業者等との災害時における協定締結数	4→7

【基本目標③】市民生活に安心感を与えるための救急医療体制の推進

(1) 各種事業について

① 救急体制の充実整備

多種多様な救急需要に対応するため、機動的な部隊運用が可能となる日勤救急隊を創設します。

また、消防力適正配置等の調査を実施し、その結果を踏まえて、救急隊の適正な配置や救急隊の増隊について検討します。

一般市民による応急手当実施率及び救命率の向上を図るために、救命講習を充実させます。また、ICT の活用と指令課員の口頭指導の技術強化により、バイスタンダーのフォロー体制を充実させます。

また、救急隊員の現場対応力向上を図り、プレホスピタルケア（病院前救護）の質を向上させます。

- ・救急需要対策（日勤救急、適正配置・増隊、民間救急）
- ・救命講習
- ・応急手当
- ・バイスタンダーフォロー体制整備
- ・プレホスピタルケア充実
- ・指導救命士適正配置

② 救急と医療の連携

平成 29 年 4 月から運用を開始したドクターカーの効果を検証し、運用時間帯の拡充に向けた検討を重ねます。また、医療機

関の受入体制を充実するため各関係機関との連携を強化します。

- ・ドクターカー拡充
- ・DNARプロトコル策定

③ 予防救急

家庭内における事故の情報を積極的に発信し、高齢者や乳幼児等の家庭内事故防止に向けた取り組みを進めます。

- ・家庭内事故防止

(2) 前期事業 KPI について

前期事業 KPI	2025 年度目標値
一般市民による心肺蘇生実施率	50.0%→60.0%
口頭指導の実施率	58.0%→60.0%
救命講習修了者数	7,000 人→10,000 人

【基本目標④】 ICT を活用したスマートな消防行政の構築

(1) 事業について

① スマート消防

市民の利便性を高めるため、電子申請等による届出の体制を構築し、順次その範囲を拡大します。また、モバイル端末による検査やオンラインによる講習などを推進します。

DX (デジタルトランスフォーメーション) により、内部事務の効率化やペーパーレス化を図ります。

スマートフォンを利用した映像での 119 番通報のシステムをはじめ、災害活動に ICT を積極的に活用します。

SNS をはじめ、あらゆるコンテンツを活用して市民に安全・安心に関する情報を発信し、市民の消防行政に対する理解を深めます。

- ・消防行政電子化の推進
- ・DX の推進
- ・災害活動への ICT 活用
- ・広報体制の充実

(2) 前期事業 KPI について

前期事業 KPI	2025 年度目標値
電子申請が可能な申請・届出の種類	— →130 種類
SNS フォロワー数	1,200 人→3,000 人

【基本目標⑤】 すべての職員が活躍できる魅力あふれる職場環境の整備

(1) 事業について

② 職場環境の整備

職員の多様な働き方を認め、すべての職員が、勤務しやすい環境を整備し、最大限にサポートできる体制整備に努めます。

本消防組合が魅力的で選ばれる組織になるように人材マネジメントに主眼を置いた人事行政を充実させます。

- ・女性環境整備
- ・多様な働き方整備
- ・ワークライフバランス (年次休暇、育児休業)
- ・消防組合の魅力創造
- ・研修体制の充実

(2) 前期事業 KPI について

前期事業 KPI	2025 年度目標値
職員に占める女性の割合	4.0%→5.0%
年次休暇の取得日数	11.7 日→14 日
男性の育児休業取得率	— →30.0%

3 事業推進委員会について

第 5 次将来構想計画の各事業を推進するために事業推進委員会を設置し、各項目の検討、関係部署間の連絡調整、進捗管理などを行います。

令和 5 年 7 月から積極的に委員会を開催していきます。

(1) 地域防災・火災予防関係

基本目標①「市民・事業所の防火・防災意識の高揚と自助・共助の醸成」を実現させるため、地域防災及び火災予防に係る各事業を推進することを目的とします。

委員会名	防火・防災対策検討委員会
関係課	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部企画戦略課 ・警防部警防課 ・予防部予防指導課 ・予防部保安対策課
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災力の強化について ・住宅防火防災対策について ・火災原因調査について

(2) 消防防災関係

基本目標②「あらゆる災害から市民を守るための消防防災体制の強化」の基本目標を実現させるため、消防防災体制に係る各事業を推進することを目的とするもの。

委員会名	消防防災体制検討委員会
関係課	・総務部企画戦略課 ・総務部人材マネジメント課 ・警防部警防課 ・警防部情報指令課
検討事項	・訓練施設について ・車両・資機材について ・今後の警防体制について

(3) 救急医療関係

基本目標③「市民生活に安心感を与えるための救急医療体制の推進」の基本目標を実現させるため、救急医療に係る各事業を推進することを目的とするもの。

基本目標	基本目標 3
委員会名	救急医療体制推進委員会
関係課	・総務部企画戦略課 ・総務部人材マネジメント課 ・警防部救急課
検討事項	・救急需要対策 ・救命講習について ・ドクターカーについて

4 その他の事項の検討体制等

次の事項については、既存の検討体制にて検討を行います。

(1) 消防 DX 関係

検討する会議体	枚方寝屋川消防組合デジタル戦略プロジェクトチーム（消防本部各課課長補佐）
検討事項	・消防情報システムの更新 ・枚方寝屋川消防組合 DX 戦略に基づく各種項目の推進 など

(2) 人材マネジメント関係

検討する会議体	消防組合の組織体制の在り方検討委員会（委員会、幹事会、調査・研究チーム）
検討事項	・人材育成方針 など

(3) その他

令和 5 年度に次の個別計画を策定する予定です。

- ・長期財政収支計画
- ・職員定員適正化計画
- ・職員採用計画
- ・消防庁舎マネジメント計画（中長期的な署所の整備計画）

令和5年度 危険物安全週間

保安対策課

危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図るため、毎年6月の第2週（日曜日から土曜日までの1週間）を「危険物安全週間」とし、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を全国的に推進しています。

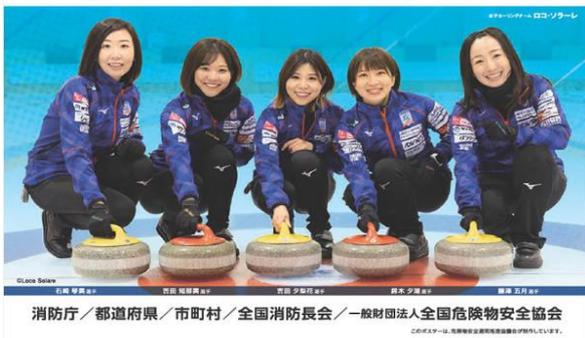
枚方寝屋川消防組合においても、危険物の事故防止の徹底と事業所の保安意識の強化を図るため様々な取り組みを行いました。

1 実施期間

6月4日（日）から10日（土）

2 危険物安全週間推進標語

「意志つなぐ 連携プレーで 事故防ぐ」



3 週間中の主な取り組み

(1) 消防訓練

6月7日（水）、大規模な地震が発生したという想定で、上村工業株式会社枚方工場様と枚方消防署3部中隊の合同訓練を行いました。

上村工業株式会社枚方工場様から80名程度の方が参加してくださり、消火、通報、避難と様々な訓練を行いました。その後の消防隊及び救急隊への引継ぎもスムーズに進み、非常に有意義な訓練となりました。



枚方消防署

6月8日（木）、株式会社大林組西日本ボテックスセンターにて危険物安全週間に伴う消防訓練を実施しました。災害活動が困難な危険物火災に対応するために、事業所と緊密な連携のもとで、消火・救護活動を実施し、危険物保安に対する防火意識の高揚と危機管理体制の再確認を行いました。



枚方東署

6月6日(火)、寝屋川市クリーンセンターにて自衛消防隊、寝屋川消防署、消防団の3者が連携して訓練を行いました。自衛消防隊は迅速な通報、初期消火活動、避難ができており、万が一の事態が生じたときの危機管理体制には目を見張るものがありました。

今後も施設、消防、消防団が一丸となって安全・安心な街づくりを目指していきます。



寝屋川署

(2) 懸垂幕の掲出

期間中本部庁舎に懸垂幕を掲出し、事故防止を呼びかけました。



(3) 危険物施設を保有している事業所に対する研修会の実施

全国的に危険物施設数は、減少傾向となっているにもかかわらず危険物の事故は例年高い水準で横ばいとなっています。原因の1つとしてあげられるのが、ベテラン職員の大量退職とされていることから、危険物を取り扱う事業所の若手職員を対象として、研修を実施しました。講義及び燃焼実験を行い、実際にガソリンの可燃性蒸気が燃える瞬間等を見ていただきました。研修会にご参加いただいた方々も、講義を聞いてからの燃焼実験ということもあり、非常に頭に入りやすかったとお声を多数いただくことができ、危険物に対する危険性を改めて認識していただく機会となりました。



(基礎知識の講義)



(燃焼実験)

(4) 危険物関係事業所の立入検査の実施

昨年度から危険物施設の一部について各署予防課において、立入検査を実施する取り組みを進めています。

今年度はその取り組みの一環として、管内の比較的大きな危険物施設をピックアップし、各署予防課と保安対策課が合同で立入検査を実施しました。

○各署の合同査察

- ・枚方消防署
京阪バス株式会社 枚方営業所
- ・枚方東消防署
西村黒鉛株式会社 枚方工場
- ・寝屋川消防署
東邦金属株式会社 寝屋川工場
株式会社彫刻プラスト

立入検査を通じ事業所の従業員に危険物の適正な貯蔵・取扱いについて伝えるとともに、各署予防課の課員の方も、あらためて危険物の危険性や管内の危険物施設の現状を知っていただくよい機会になりました。

4 令和5年度危険物安全大会への参画

大阪府では、毎年6月を「大阪府危険物安全月間」と定め、この期間中に危険物の保安に関する普及啓発事業を行い、危険物に関する意識の高揚及び啓発を呼びかけています。

危険物安全大会は、月間内の主要事業として、府内の危険物関係者及び府民が一堂に会し行われるもので、危険物の保安に尽力し、顕著な功績を取めた方々に対し、感謝状の贈呈や表彰が行われるとともに、安全推進講演が行われます。

今回は、本消防組合管内の次の事業所様が表彰されました。

○公益財団法人 大阪府危険物安全協会地域安全活動表彰

- ・優良危険物事業所表彰



共英製鋼株式会社 枚方事業所様

○大阪府知事感謝状

- ・優良危険物関係事業所



倉敷紡績株式会社 寝屋川工場様

令和5年度 火薬類危害予防週間

保安対策課

火薬類の災害を防止し、公共の安全を確保することを目的として、毎年度実施するもので、火薬類の危害予防意識の高揚を図りました。



1 実施期間

6月10日（土）から16日（金）

2 週間中の主な取り組み

ポスターや懸垂幕の掲示とあわせ、管内の火薬類事業者への立入検査を実施し、関係法令・規程等の周知を行いました。



（懸垂幕を掲示）

3 おもちゃ花火事故防止の取り組み

これからの季節、おもちゃ花火を楽しむ機会が増える一方で、事故も増加してきます。改めて、おもちゃ花火を楽しむ際の、注意点等を知っていただく機会であると考えています。

また、おもちゃ花火に係る事故防止を図るため、安全な消費と取り扱いに関するポスターを両市公立の幼稚園、小学校及び中学校に配布し、掲示を依頼しています。



千成ヤクルト販売株式会社と連携し、熱中症から高齢者を守る！

高齢者向け熱中症予防リーフレットを配布！

企画戦略課

4月20日、本消防組合と千成ヤクルト販売株式会社は「火災予防及び予防救急に関する連携協定」を締結しました。（纏人 2023年5月号参照）この連携協定のもと、枚方市・寝屋川市の高齢者の熱中症発症者数を減少させる取り組みを実施します。

1 熱中症の搬送者数の推移

全国的に高齢者の熱中症搬送者数は全体の半数以上を占めており、枚方市・寝屋川市においては、過去2年間は約6割が高齢者となっています。（表1、表2参照）

政府は令和12年（2030年）までに熱中症対策に係る省庁が連携し、近年の平均1,000人（5年移動平均）を超える熱中症の死者数を半減させるとの目標を掲げて「熱中症対策実行計画」が5月30日に閣議決定されました。具体的な数値目標としては、18～22年の平均の年間死者数1,295人を基準とし、30年までに半減させるというものです。

具体的には、高齢者や子どもといった熱中症のリスクが高い人たちを念頭に、福祉関係の団体などに見守り協力や予防の呼びかけを強化するものです。（表3）

これを受け、本消防組合でも高齢者に対する熱中症予防を呼びかける取り組みを検討しました。

表1 全国の過去3年間の熱中症搬送状況

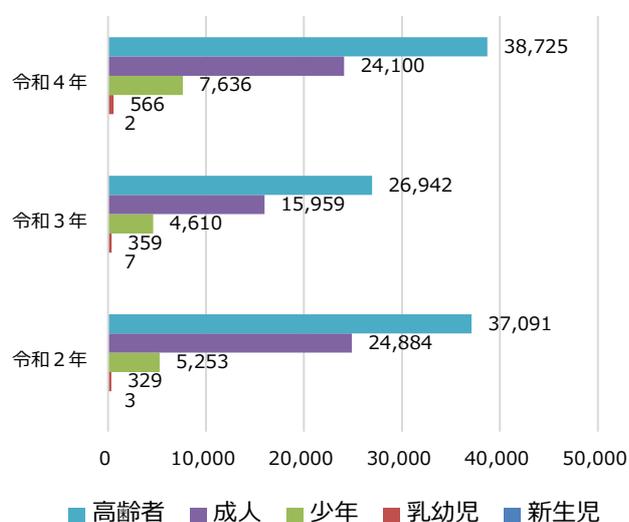


表2 本組合の過去3年間の熱中症搬送状況

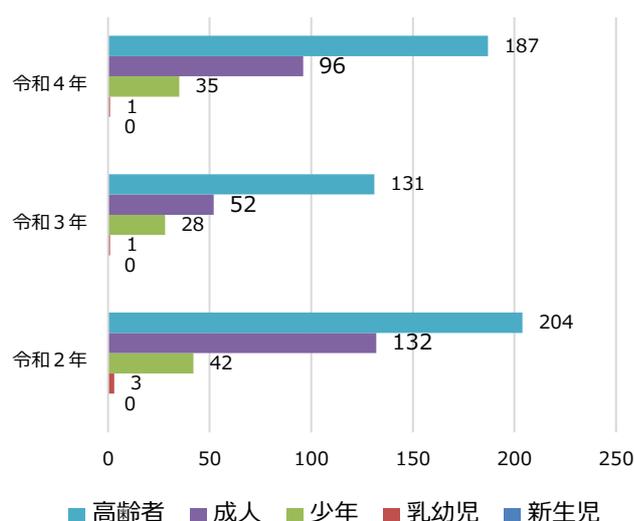
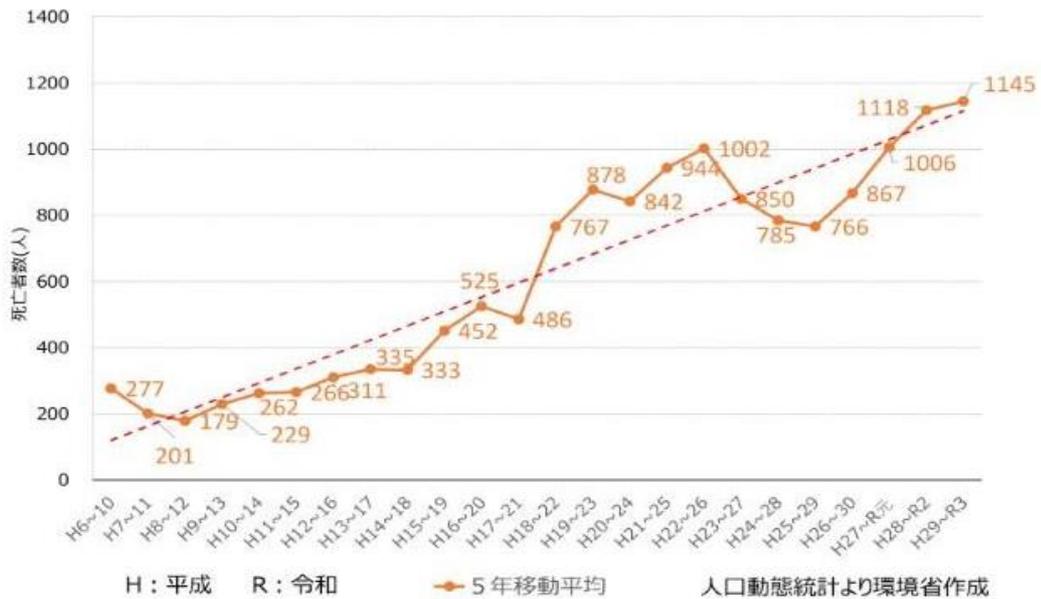


表3 熱中症による死亡者の状況



2 取り組み内容について

この度、連携協定のもと、千成ヤクルト販売株式会社が管轄する枚方市・寝屋川市エリアの高齢者の顧客に対し、ヤクルトレディによる巡回販売の際に、高齢者向け熱中症予防リーフレットを配布するとともに、熱中症に対する注意喚起を実施し、高齢者の熱中症発症者数を減少させる取り組みを実施します。また、本消防組合から定期的に熱中症情報を配信し、情報共有を行い、リーフレット配布後も注意喚起や見回り活動等を実施するものです。



本消防組合からヤクルトレディに依頼する様子

3 実施期間

ヤクルトレディにより7月末までに、リーフレットの配布を完了させ、9月末日まで、熱中症の注意喚起を実施します。

4 高齢者向け熱中症予防リーフレット

高齢者向け熱中症予防リーフレットは、高齢者に必要な情報を理解しやすいように簡潔にまとめました。その他には、見やすいようにグラフの色合い、文字のフォントや大きさを工夫したものとなっています。



人も地球も健康に
× **Yakult**

5 今後の取り組みとして

連携協定のもと高齢者向け熱中症予防リーフレット配布だけでなく、各課と協議し、様々な広報活動を実施していきます。

熱中症にご注意を！



データで見る熱中症

熱中症による救急搬送は319人(管内令和4年中)

そのうち、なんと6割が高齢者！

年齢区分別



場所別(屋内・屋外)



時間帯(日中・夜間)



大切な対策

こまめな水分補給！

我慢せずエアコンをつけましょう！



熱中症かな？と思ったら

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら…。
落ち着いて、状況を確認してから対処しましょう。最初の処置が肝心です。

普段の様子と違う

めまい・立ちくらみ・吐き気・筋肉の硬直・失神・大量の発汗
頭痛・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温



枚方寝屋川消防組合と千成ヤクルト販売株式会社は包括的連携協定を締結し、**高齢者に熱中症予防**を呼びかけます！

第51回消防救助技術近畿地区指導会に出場します



警防課

7月22日(土)、大阪市消防局高度専門教育訓練センターで開催される第51回消防救助技術近畿地区指導会への出場隊員が決定しました。

それに伴い、7月10日(月)水上の部、7月14日(金)陸上の部の披露会が行われました。

1 水上の部 出場隊員

(1) 基本泳法 3チーム

消防士長 北口 裕之
消防士 窪田 隆佑
消防士 水川 浩平

(2) 溺者搬送 2チーム

消防士長 堀川 靖人
消防士 水野 明莉

消防士 橋本 尚紀
消防士 水野 明莉

(3) 人命救助 2チーム

消防士長 宇治川 大介
消防士長 北口 裕之
消防士長 山田 竜誠

消防士長 山原 翔一
消防士長 木村 将大
消防士長 山田 竜誠

(4) 溺者救助 2チーム
消防士長 片山 純一
消防士 水川 浩平
消防士 成田 龍馬

消防士長 山田 竜誠
消防士 窪田 隆佑
消防士 田中 啓太

(5) 水中結索
消防士長 堀川 靖人
消防士長 木村 将大
消防士 橋本 尚紀



昨年度からの取り組みとして、種目をわかりやすく陸上で説明している様子

2 陸上の部 出場隊員

(1) ロープブリッジ救出 2チーム

A チーム

消防士長	福田	祥太
消防士	堀井	烈人
消防士	吉田	翔
消防士	三輪	海人

B チーム

消防司令補	松本	紘介
消防士長	北田	純一
消防士	大山	莉功
消防士	佐桑	幹人

(2) 障害突破 2チーム

A チーム

消防司令補	山口	淳也
消防士長	鈴木	涼平
消防士長	上田	陽之
消防士	中田	飛騎
消防士	秋田	拓己

B チーム

消防士長	松富	賢太郎
消防士長	山内	隆弘
消防副士長	村田	雄生
消防士	森澤	昂平
消防士	審	真皓

(3) 引揚救助 2チーム

A チーム

消防司令補	沖田	真也
消防士長	東野	太一
消防士長	上尾	良太
消防士	山本	義輝
消防士	橋爪	翼

B チーム

消防司令補	柴田	翔平
消防士長	前田	颯
消防士	金井	優太
消防士	大場	将司
消防士	羽間	祐介

3 訓練披露会

新型コロナウイルス感染症の行動制限が解除され、初の訓練披露会となりました。

各訓練会場では、職員だけでなく、市民の皆さまも来場され、披露会は大いに盛り上がりました。ベストタイムが出たチーム、全国大会の出場が狙えるタイムを叩き出したチームや、緊張の中、失敗もあり課題が残ったチームもあったと思いますが、日頃の訓練の成果を第51回消防救助技術近畿地区指導会で披露してくれることを期待しています。

また、今回の披露会につきましては、広報ひらかた・広報ねやがわの8月号に掲載されることが決定しました。皆さん是非ご覧ください。

4 おわりに

第51回消防救助技術近畿地区指導会は大阪府下、兵庫県下、合わせて約1,000名の精鋭が、技術を披露し競い合う、白熱した訓練が展開されます。

なお、会場では、訓練披露だけでなく、各種様々なイベントが開催されますので、ご家族そろっての来場お待ちしております。

そして、近畿地区指導会を勝ち抜き、北海道札幌市で開催される第51回全国消防救助技術大会に1チームでも多く出場できるよう頑張りますので、ご声援よろしくお願ひします。





第51回消防救助技術 近畿地区指導会

未来に繋げ ～輝く命～



令和5年 7月22日(土)

開会式AM9:30~PM4:00

大阪市消防局

高度専門教育訓練センター

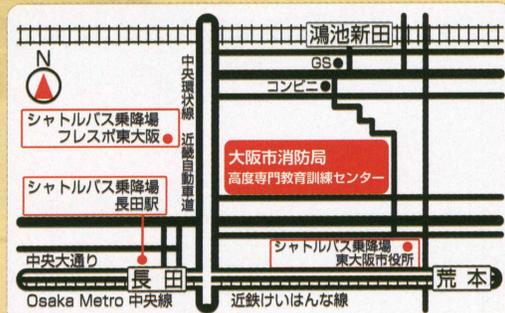
旧大阪市消防学校

(東大阪市三島2-5-43)

会場までのアクセス

- JR鴻池新田駅南へ800m
- 無料シャトルバス
 - ・Osaka Metro 中央線長田駅 (2、3番出口)
 - ・東大阪市役所 (近鉄けいはんな線荒本駅下車すぐ)
 - ・プレスポ東大阪

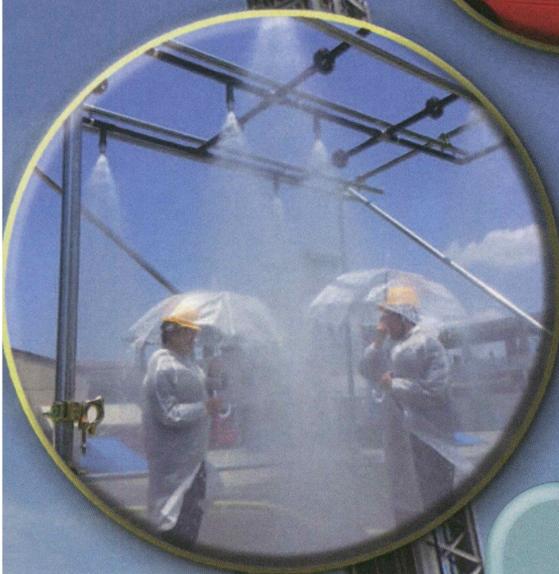
※プレスポ東大阪の立体駐車場4階が一般来場者用の駐車場となっております。近隣の違法・迷惑駐車は絶対におやめください。



主催：一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会近畿地区支部

レスキュー・カーニバル



ブース紹介

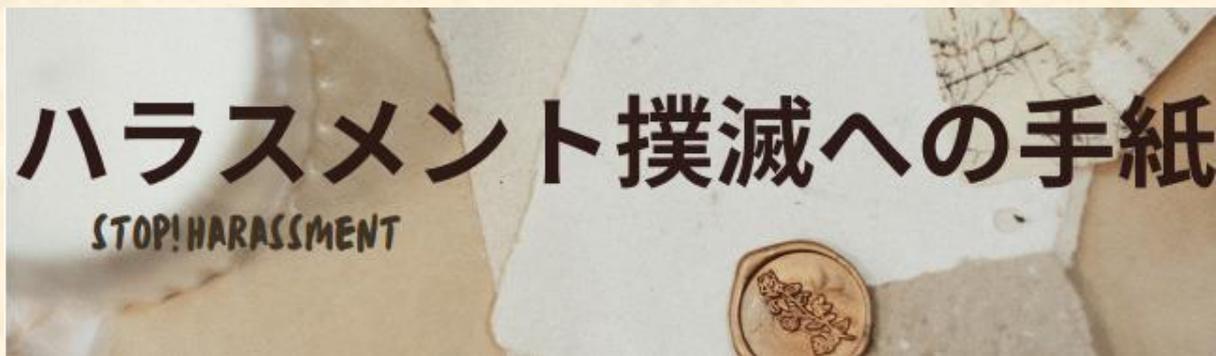
- ・はしご車乗車体験
- ・地震体験
- ・豪雨体験
- ・胸骨圧迫体験
- ・消防車と記念撮影
- ・消火器体験
- ・ミニミニ消防車乗車
- ・ジュニアレスキューチャレンジ などなど

大阪市消防局総務課 TEL : 06-6582-2854

(大会当日のお問合せ専用ダイヤルは右記まで→TEL : 06-6744-0119)

※各ブース無料でお楽しみいただけます。

お問合せ



第8回 心理的安全性

「心理的安全性」とは、「サイコロジカル・セーフティ (psychological safety)」を日本語に訳した言葉で、ビジネスに関する心理学用語の一つとされ、ハーバード大学で組織行動学を研究するエイミー・エドモンドソン教授が1999年にその概念を提唱しました。

エドモンドソン教授によると心理的安全性は、「チームにおいて他のメンバーが、自分が発言することを恥じたり、拒絶したり、罰をあたえるようなことをしないという確信をもっている状態であり、チームは対人リスクをとるのに 安全な場所であるとの信念がメンバー間で共有された状態」と定義されています。

例えば、上司や同僚の反応に怖がったり、恥ずかしいと感じたりせず、自然体の自分を隠すことなく全てオープンにできる状態であるといえ、そんな穏やかな雰囲気がある職場は、心理的安全性が高いとされています。

心理的安全性が低いとどのような弊害があるのでしょうか。

心理的安全性不足が引き起こす4つの不安と行動特徴

〈IGNORANT〉 無知だと思われる不安		〈INCOMPETENT〉 無能だと思われる不安	
心理状態 「こんなことも分からないなんて」 と思われるのではないだろうか…	行動特徴 ☹️ 「分からない」と言えない ☹️ 知らないことや不明点を聞くことができない	心理状態 「こんなこともできないなんて」 と思われるのではないだろうか…	行動特徴 ☹️ 失敗やミスを隠してしまう ☹️ 自分の過ちを認めない
〈INTRUSIVE〉 邪魔をしていると思われる不安		〈NEGATIVE〉 ネガティブだと思われる不安	
心理状態 「議論や仕事の邪魔になっている」 と思われるのではないだろうか…	行動特徴 ☹️ 自発的な発言を控える ☹️ 新しいアイデアを発言しない	心理状態 「いつも否定ばかりしている」 と思われるのではないだろうか…	行動特徴 ☹️ 必要な指摘を躊躇してしまう ☹️ チームの問題について発言しない

このように、心理的安全性が不足した状態は、多くのネガティブな行動を引き起こしてしまいます。

一方、心理的安全性が高い組織ではどのような行動特徴ができるのでしょうか。

心理的安全性が確保されることによる心理状態と行動特徴

〈IGNORANTの解消〉 無知だと思われない		〈INCOMPETENTの解消〉 無能だと思われない	
<p>心理状態</p> <p>「こんなことも分からないなんて」</p> <p>と私のチームでは誰も思わないよ。</p>	<p>行動特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ☺ 「分からない」と気軽に言える ☺ 知らないことや不明点を遠慮なく尋ねる 	<p>心理状態</p> <p>「こんなこともできないなんて」</p> <p>と私のチームでは誰も思わないよ。</p>	<p>行動特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ☺ 失敗やミスを素直に認める ☺ できないことは事前に相談する
〈INTRUSIVEの解消〉 邪魔をしていると思われない		〈NEGATIVEの解消〉 ネガティブだと思われない	
<p>心理状態</p> <p>「議論や仕事の邪魔になっている」</p> <p>と私のチームでは誰も思わないよ。</p>	<p>行動特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ☺ 自分の意見を躊躇なく発言する ☺ ユニークなアイデアが生まれる 	<p>心理状態</p> <p>「いつも否定ばかりしている」</p> <p>と私のチームでは誰も思わないよ。</p>	<p>行動特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ☺ 必要であれば否定的な意見も発言する ☺ チームの問題を建設的に議論する

このように、心理的安全性が高いと組織が活性化し、新たなアイデアが創出されたり、改善が生まれやすい組織になり、職員のエンゲージメントも向上するとされています。

消防という強固な信頼関係が必要となる職種であるからこそ、組織における心理的安全性を高め、ハラスメントの無い組織風土を構築していきましょう。



少年消防クラブの活動

枚方消防署

6月の防火教室

6月10日(土)枚方消防署5階研修室にて、地域防災向上センターご協力のもと、救命講習(基本編)及び応急手当を実施しました。

クラブ員達は、保護者の方と一緒に、救命の基本編及び応急手当を学び、大切な人が倒れた時に助けられるように一生懸命取り組んでいました。



枚方東消防署

6月の防火教室

6月17日(土)本部庁舎にて情報指令センター見学を行いました。クラブ員は119番通報を行う側、指令課員として通報を受ける側、ともに体験することで、その難しさや必要な情報の優先順位等を学び、有事の際に119番通報するという一歩を踏み出すきっかけになりました。



寝屋川消防署

6月の活動

6月24日 寝屋川少年消防クラブ、救助訓練見学、消火器体験及び煙道体験を実施。

寝屋川1部救助隊、2部救助隊の訓練を見させていただき、子供たちは一生懸命に応援していました。

煙道、消火器体験も楽しみながら学びました。



火遊び・花火による火災の防止について

警 防 課

1 火遊びによる火災の防止について

子供が火遊びをすると消火することができずに火災が拡大することがあります。

本消防組合では子供の火遊びによる火災が令和4年中に3件（全国357件）発生しています。

子どもの火遊びによる火災防止ポイント

- ① 小さな子供だけを残して外出しない
- ②ライターやマッチを子供の手の届くところに置かない
- ③ 子供だけで火を取り扱わせない
- ④ 火遊びをしているところを見かけたら注意する
- ⑤ 火災の恐ろしさ・火の取扱いについて教育する

2 おもちゃ花火はルールを守って楽しく遊びましょう

子どもの頃に、夏になると手持ち花火や打ち上げ花火などのおもちゃ花火で遊んだ記憶があるのではないのでしょうか。

楽しい花火は遊び方を誤ると、火災や火傷などの事故が発生する可能性があります。

楽しく、安全に遊ぶためにも十分に注意して遊びましょう。

本消防組合では花火が起因とする火災が令和4年中に4件発生しています。

花火を安全に遊ぶためのルール

- ① 必ず水の入ったバケツ、ゴミ袋を用意する
 - ② 使用後は水にしっかりつけて消す
 - ③ 風の強い日には行わない
 - ④ 3歳以下の子供に持たせない
 - ⑤ 肌の露出や履物、裾の広い服装でやらない
- ※ 使用方法や注意事項をよく読みましょう



河川敷で発生したその他の火災

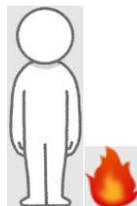


手持ち花火により出火したと断定されました。

着衣に着火した場合の対処法



着衣に火がついても走らない！



立ち止まって地面に転がる！
燃えている部分を押し付けて消火する

止まって、倒れて、転がり消火

消防統計(令和5年6月) 前年比

1 119番通報受信件数・指令件数

	令和5年		令和4年		累計の対前年比	
	6月	累計	6月	累計	増減数	増加率(%)
119番通報受信件数	6,370	36,493	5,719	33,484	3,009	9.0%
指令件数	3,924	23,581	3,662	21,982	1,599	7.3%

2 火災

	令和5年		令和4年		累計の対前年比		
	6月	累計	6月	累計	増減数	増加率(%)	
火災件数	10	80	17	97	▲ 17	▲ 17.5%	
内訳	建物火災	9	61	11	60	1	1.7%
	うち住宅火災	8	47	9	45	2	4.4%
	林野火災	0	0	0	0	0	-
	車両火災	1	5	0	5	0	0.0%
	その他火災	0	14	6	32	▲ 18	▲ 56.3%
火災による死者	2	5	0	3	2	66.7%	
うち住宅火災による死者	2	5	0	3	2	66.7%	
うち65歳以上	0	3	0	3	0	0.0%	
火災による負傷者	4	20	4	15	5	33.3%	

3 救急

	令和5年		令和4年		累計の対前年比		
	6月	累計	6月	累計	増減数	増加率(%)	
出動件数	3,539	21,482	3,340	20,081	1,401	7.0%	
うちドクターカー出動	24	223	32	199	24	12.1%	
搬送人員	3,121	18,633	2,982	17,601	1,032	5.9%	
年齢区分内訳	新生児・乳幼児 7歳未満	231	1,199	150	761	438	57.6%
	少年 7~17歳	145	686	132	651	35	5.4%
	成人 18~64歳	900	5,174	921	5,060	114	2.3%
	高齢者 65歳以上	1,845	11,574	1,779	11,129	445	4.0%
	うち65歳から74歳	398	2,562	433	2,585	▲ 23	▲ 0.9%
	うち75歳から84歳	812	4,885	750	4,746	139	2.9%
うち85歳以上	635	4,127	596	3,798	329	8.7%	
症度内訳	死亡	34	295	25	254	41	16.1%
	重症	31	245	27	284	▲ 39	▲ 13.7%
	中等症	996	6,222	963	6,277	▲ 55	▲ 0.9%
	軽症	2,060	11,871	1,967	10,786	1,085	10.1%
	その他	0	0	0	0	0	-

4 救助

	令和5年		令和4年		累計の対前年比	
	6月	累計	6月	累計	増減数	増加率(%)
救助出動件数	35	167	31	151	16	10.6%
救助人員	16	75	9	67	8	11.9%

消防統計(令和5年6月) 前年比

1 119番通報受信件数・指令件数

	枚方市・寝屋川市		交野市		指令センター全体	
	6月	累計	6月	累計	6月	累計
受信件数	5,858	33,632	512	2,861	6,370	36,493
指令件数	3,556	21,413	368	2,168	3,924	23,581

2 火災

	枚方市		寝屋川市		組合全体		
	6月	累計	6月	累計	6月	累計	
火災件数	7	43	3	37	10	80	
内訳	建物火災	6	30	3	31	9	61
	うち住宅火災	5	25	3	22	8	47
	林野火災	0	0	0	0	0	0
	車両火災	1	4	0	1	1	5
	その他火災	0	9	0	5	0	14
火災による死者	2	5	0	0	2	5	
うち住宅火災による死者	2	5	0	0	2	5	
うち65歳以上	0	3	0	0	0	3	
火災による負傷者	3	14	1	6	4	20	

3 救急 (組合全体は管外(交野市・第二京阪道路等)への出動を含む)

	枚方市		寝屋川市		組合全体		
	6月	累計	6月	累計	6月	累計	
出動件数	2,091	12,859	1,442	8,523	3,539	21,482	
うちドクターカー出動	16	123	6	67	24	223	
搬送人員	1,813	11,074	1,305	7,518	3,121	18,633	
年齢区分内訳	新生児・乳幼児 7歳未満	144	762	86	435	231	1,199
	少年 7~17歳	80	418	65	267	145	686
	成人 18~64歳	526	3,034	373	2,118	900	5,174
	高齢者 65歳以上	1,063	6,860	781	4,698	1,845	11,574
	うち65歳から74歳	225	1,501	173	1,056	398	2,562
	うち75歳から84歳	447	2,812	365	2,067	812	4,885
うち85歳以上	391	2,547	243	1,575	635	4,127	
症度内訳	死亡	19	187	15	108	34	295
	重症	19	134	12	111	31	245
	中等症	587	3,744	408	2,465	996	6,222
	軽症	1,188	7,009	870	4,834	2,060	11,871
	その他	0	0	0	0	0	0

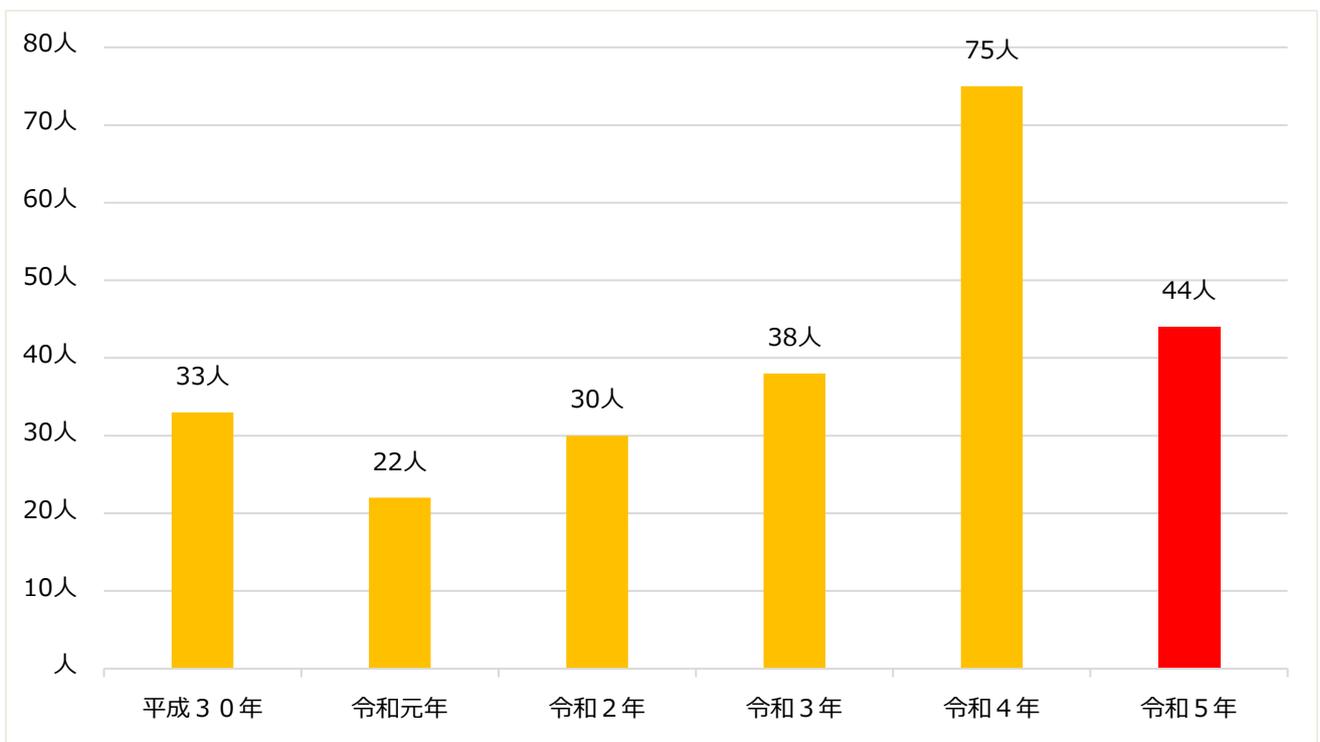
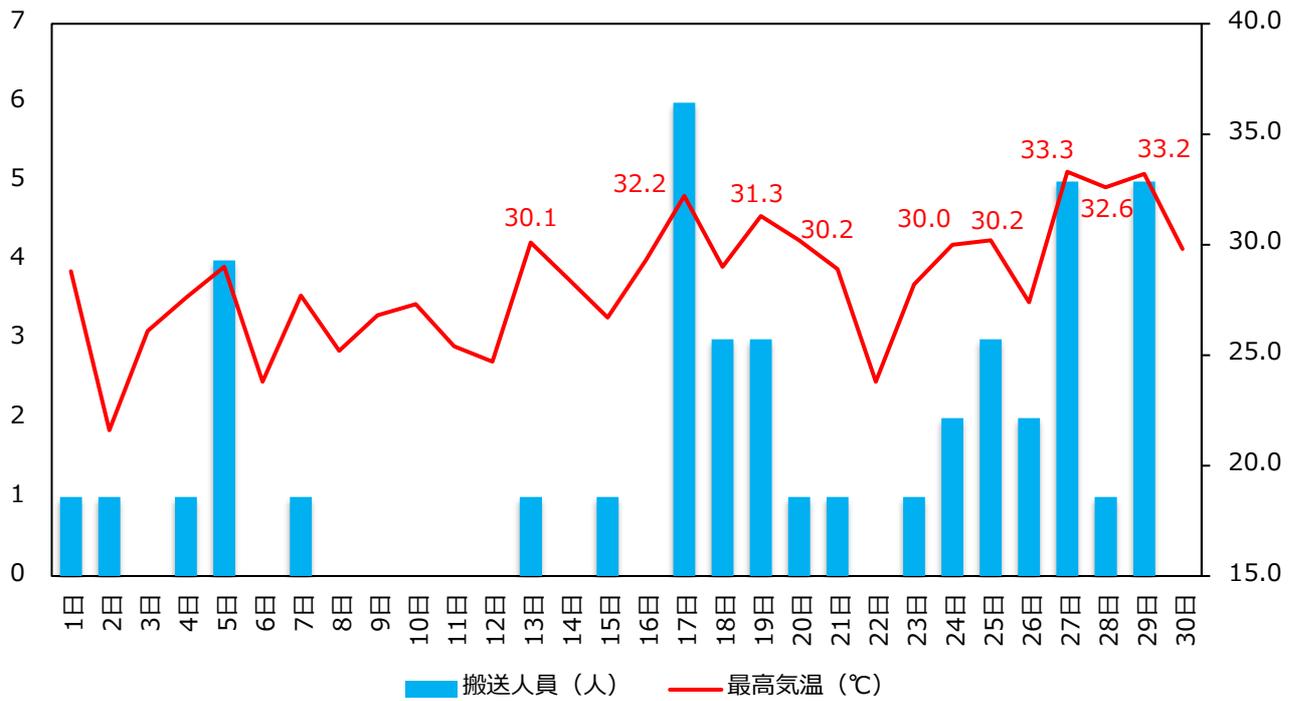
4 救助 (組合全体は管外(交野市・第二京阪道路等)への出動を含む)

	枚方市		寝屋川市		組合全体	
	6月	累計	6月	累計	6月	累計
救助出動件数	27	101	8	64	35	167
救助人員	15	49	1	20	16	75

熱中症による救急搬送状況（令和5年6月）

1 概要

令和5年6月の熱中症による救急搬送人員は44人（枚方市24人、寝屋川市20人）でした。これは、昨年6月の救急搬送人員75人（枚方市38人、寝屋川市37人）と比べると31人少なくなっています。

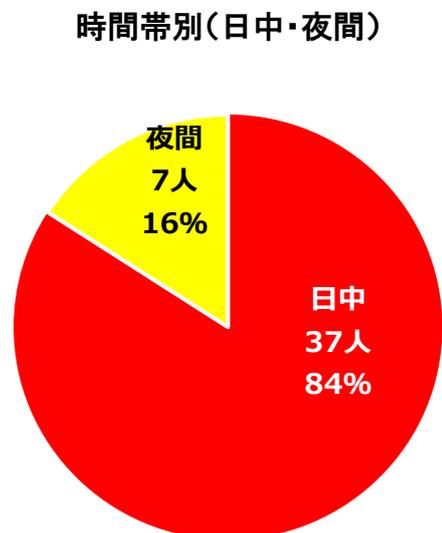
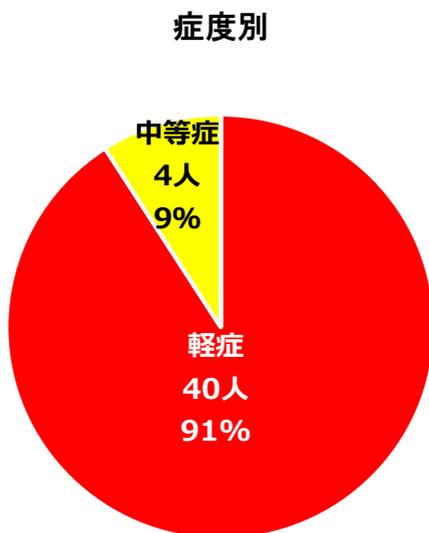
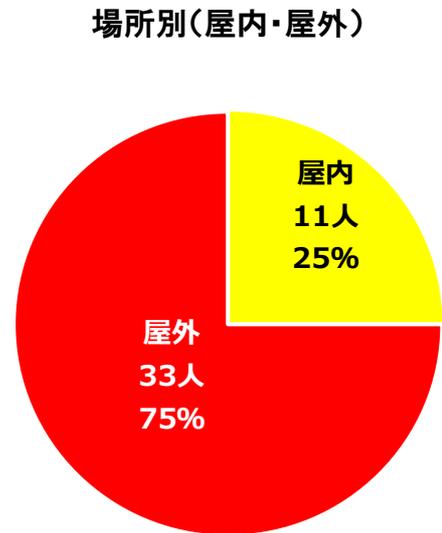
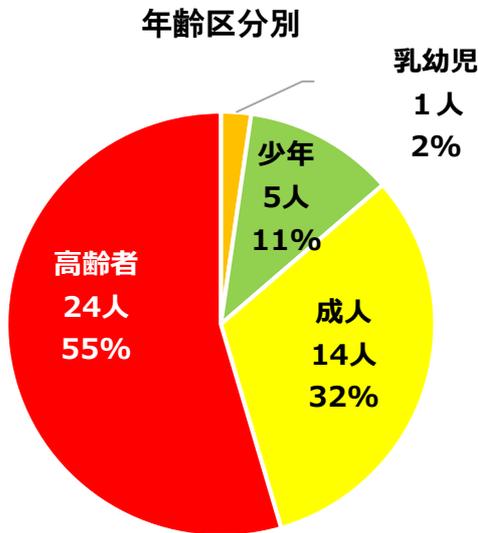


2 詳細

年齢区分別では、65 歳以上の高齢者が 24 人と最も多く、次いで成人が 14 人となっています。

搬送された医療機関での初診時における傷病程度別にみると、軽症(外来診療)が 40 人と最も多く、次いで中等症(入院診療) 4 人となっています。

発生場所別では、屋内が 11 人、屋外が 33 人、時間帯では、日中(6 時~17 時台)が 37 人で夜間(18 時~翌朝 5 時台)は 7 人でした。



3 注意ポイント

7月 は梅雨 が明けるまで湿度が高く、梅雨が明けると昨年のように気温が急上昇する恐れがあります。外出時はこまめに水分・塩分補給をするとともに、屋内では適切にエアコンを使用し、熱中症対策をお願いします。